

<ラムサール通信>

2014年10月28日発行 第168号

### ●「地域活性化に向けた『ESD・KODOMO ラムサール』推進事業」がスタート●

環境教育等促進法「地域活性化に向けた協働取組の加速化事業」に採択された「地域活性化に向けた『ESD・KODOMO ラムサール』推進事業」がスタートしました。「民間団体、企業、自治体等異なる主体による協働取組を実証するとともに、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）および地方環境パートナーシップオフィス（EPO）が伴走支援しつつ、協働取組の過程をはじめ、さまざまな手法や留意事項等を明かし、協働取組におこなう者の参考資料に供するための実証事業」で、ラムサールセンター（RCJ）がこれまで全国で実施してきた湿地環境教育「KODOMO ラムサール」の集大成ともいえるべき活動です。

計画にもとづき、RCJでは、8月に「ESD・KODOMO ラムサール<琵琶湖>」を、9月に「ESD・KODOMO ラムサール湿地交流 in 藤前干潟」を実施しました。

### ●ESD・KODOMO ラムサール<琵琶湖>開催報告●

2014年8月18～20日、協働取組事業の第1回目として、滋賀県と草津市の共催で「ESD・KODOMO ラムサール<琵琶湖>」をサロベツ原野、宮島沼、燕栗沼・周辺水田／化女沼、藤前干潟、東海丘陵湧水湿地群、三方五湖、琵琶湖の7湿地、29名の子どもが参加して開催しました。

地元自治体と協働して、地域資源を活用した活性化を目指す視点から、プログラムでは、琵琶湖の内湖の柳平湖での淡水真珠の養殖事業や、漁業組合による名産のフナ寿司づくり、琵琶湖クルーズと深層水の汲み上げ調査など、琵琶湖の自然と人の暮らし、自然を守る取り組みを体験しました。夜には草津市市長から、琵琶湖に関するお話をしてもらいました。

会議では、さまざまな意見がでたなかで最終的に、「琵琶湖の水」、「県民の琵琶湖に対する愛情」、「沖島」、「琵琶湖を守る人々のとりくみ」、「固有種」、「湖魚食文化」の6つの宝が選ばれ、「歴史をもとにみんなで築こう未来の琵琶湖」のメッセージが決まりました。



### ▼国際会議参加のため11月1～12日事務局お休みします▼

アジア湿地シンポジウム（AWS）およびESD ユネスコ世界会議に参加のため、RCJ事務局は11月1～12日、お休みします。急ぎのご連絡はメール（[ramsarcj.nakamura@nifty.com](mailto:ramsarcj.nakamura@nifty.com)）へどうぞ。

## ●ESD・KODOMO ラムサール湿地交流 in 藤前干潟 開催報告●

琵琶湖につづいて9月13～15日、名古屋市で「ESD・KODOMO ラムサール湿地交流 in 藤前干潟」を、藤前干潟ふれあい事業実行委員会（名古屋市、愛知県、中部地方環境事務所、藤前干潟を守る会）と共催し、蕪栗沼・周辺水田／化女沼、谷津干潟、東海丘陵湧水湿地群、琵琶湖、藺牟田池、藤前干潟の6湿地、20人の子どもが参加しました。

市、県、環境省、NGOが協働する画期的な初の取り組みとなり、地元からファシリテーターを起用するなど守る会の全面協力を得て実施されました。プログラムでは、伊勢湾最奥部に残された貴重な干潟と環境を総合的に考えるために港の周辺をバスで巡り、さらに庄内川の流入と周辺に広がる水田、ヨシ原を観察するなどこれまでにない盛りだくさんの新しい藤前干潟の学習となりました。

会議では、白熱した議論の末に、「市民の干潟を守る愛情」、「干潟の生物」、「最後の漁師犬飼さん」、「ヨシ原」、「埋め立てから守った歴史」、「田んぼ」の6つの宝が選ばれ、メッセージは「宝をうけつぎ、未来を作ろう藤前干潟」に決まりました。



## ●来年の1月はESD・KODOMO ラムサールくみやぎ大崎>を開催します●

協働取組事業の3回目は、来年の1月31～2月1日に蕪栗沼・周辺水田と化女沼がある、宮城県大崎市で開催します。東北ブロック5湿地の子どもを中心に、事業のまとめとして企画を準備しています。詳しいお知らせは、また追ってお知らせします。

## ●アジア湿地シンポジウム／ラムサール条約アジア地域会合の合同会議、まもなく開幕●

お知らせしてきたように、2014年11月3～7日、カンボジアのシェムリアップで、「Asian Wetland Symposium / Ramsar Pre-COP12 Asia Regional Meeting」が、カンボジア政府、ラムサール条約事務局、日本国際湿地保全連合（WIJ）、RCJの共催で開催されます。今回は締約国の地域会合と合同開催となり、アジア地域の政府代表はじめ、研究者、NGO、学生など140人が参加する予定です。日本からもおよそ20人が参加します。プログラムの内容などは下記ホームページ（英語版のみ）に随時掲載されますので、ご参照ください。 <<http://aws-arm2014.org/index.html>>

## ●「ESD ユネスコ世界会議／ESD 交流フェスタ」に出展します●

11月10日～「持続可能な開発のための教育に関するユネスコ世界会議（ESD ユネスコ世界会議）」が名古屋市で開催します。RCJは、本会議の名古屋国際会議場で「ESD・KODOMO ラムサール」の成果をポス

ターセッションに出展して、世界に紹介します。

また11月8日(土)～9日(日)には、併催イベント「あいち・なごやESD交流フェスタ」に劇団シンデレラとブース展示をして、子どもたちがつくった「お宝ポスター」や「メッセージ」を掲示します。2011年にスタートした「ESD・KODOMOラムサール」運動のゴール、締めくくりになります。

~~~~~

○あいち・なごやESD交流フェスタ 出展場所○

日時:2014年11月8日(土)～9日(日) 10:00～16:30

場所:栄会場の久屋広場「E7ブース」 地下鉄東山線「栄駅」から徒歩5分

ブース名:ESDのためのKODOMOラムサール/劇団シンデレラ

※9日のお昼前後を中心に、KODOMOラムサールに参加した子どもたちに集合を呼びかけています。

~~~~~

○ESDユネスコ国際会議 ポスター出展場所○

日時:2014年11月10日(月)～12日(水)

場所:名古屋市熱田区熱田西町1番1号 名古屋国際会議場 1号館3階ロビー

地下鉄名城線「西高蔵駅」から徒歩5分

※国際会議場の入場には事前登録が必要です。

~~~~~

●バードソン「RCJチーム」への募金ご協力ありがとうございました●

6月8日に中村玲子、中村秀次、岡本嶺子、長井弘勝、高橋一也の5名で等々力溪谷～明治神宮と巡り、バードレースを楽しみました。結果、確認種数は21種、チームの募金額は50人から58,910円になりました。ご協力ありがとうございました。なお、NEC学生バードソン2014全体の募金者数は2,306人、募金額額は680,489円とのことです(7月30日現在)。この募金は、ラムサールセンターの「KODOMOラムサール」活動に寄付されます。

11月30日(日)に、日本野鳥の会 西五反田事務所(五反田3丁目9番23号 丸和ビル4階)で、NEC学生バードソン2014の交流会が開催されます。お問い合わせは事務局まで。

---

RCJ会員・事務局の近況・現況

- ◆次年度のトヨタ環境活動助成(2015-2016)にインド・チリカ湖でのプロジェクト「インド国ベンガル湾沿岸村落の復興と防災のための『持続可能な生活林』再生事業」が内定しました。
- ◆RCJのボランティアとして活躍した尾崎友紀さんが、10月7日、青年海外協力隊員として任地ペルーに出發しました。リマでホームステイして集中語学研修を受けています。
- ◆2011年、AWS2011(サバ、無錫)でRCJ事務局スタッフとして協力してくれた村田奈都希さんが、バードライフインターナショナル東京オフィスの事務局長に就任しました。
- ◆ラムサールセンター事務局スタッフの田辺篤志は来年、熊本大学大学院へ進学します。
- ◆KODOMOラムサールで協力いただいた、元積水化学工業のJames McGillさんから、切手を寄付していただきました。ありがとうございます。
- ◆市川智子さんは、東アジア・オーストラリア地域フライアウェイパートナーシップオフィスのコミュニケーションオフィサーに就任しました。
- ◆山口県八代の故弘中数實さんの追悼・遺稿集「鶴と暮らす山里の『野鶴監視員』の物語」がダイヤモンド社から発刊されました。1冊1,000円(送料込み)でRCJ事務局で頒布しています。